



CORPORATE REPORT 2025

2025年12月期
第3四半期決算報告

2025年1月1日



2025年9月30日

GMO INTERNET GROUP

証券コード：9449

「100年単位で 継続する企業グループ」 へ向けて

代表取締役グループ代表
会長 兼 社長執行役員・CEO

熊谷 正寿



岩盤ストック収益をベースに、高水準の利益創出

GMOインターネットグループは「GMOイズム」という共通の価値基盤に基づき、100年単位で継続する企業グループとなるべく、25年1月に純粋持株会社に近い立ち位置へ移行し、長期目線の経営を進めています。

第3四半期の連結業績は増収増益の決算となりました。業績の牽引役はインフラで、3四半期連続で最高益を更新し、100億を超えてまいりました。中でもGPUクラウド事業が単月黒字化を達成し、投資回収フェーズへ進んできました。また、持続的成長にはストックの積み上げが重要だと考えており、インフラのみならずグループ全体で岩盤ストック化が浸透しています。

注力領域であるセキュリティ、AI・ロボティクス領域では社会的要請の高まりもあり、サイバーセキュリティ事業の高成長が続いています。また、「第一想起ブランド確立」に向け進めている「ネットのセキュリティもGMO」プロジェクトでは、AI・ロボティクスカンファレンスを開催し、最先端技術の社会実装に向け、ヒューマノイドを中心とした産官学連携のロードマップを提示しました。

今後も持続的成長の実現、企業価値の拡大を目指してまいります。株主の皆様には今後も格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ダイジェスト (2025年7月1日▶2025年9月30日)

▼第3四半期決算のポイント

当第3四半期	
売上高	営業利益
 71,263 百万円	 14,718 百万円
(前年同期比 2.4%増)	(前年同期比 24.6%増)

▼セグメント別の概況 (単位百万円、カッコ内は前年同四半期比増減率)

インターネットインフラ事業

売上高 44,728 (7.1%増)	営業利益 10,209 (28.4%増)
--------------------	----------------------

インターネットセキュリティ事業

売上高 5,147 (19.6%増)	営業利益 120 (-)
--------------------	--------------

インターネット広告・メディア事業

売上高 8,278 (3.1%減)	営業利益 612 (24.3%減)
-------------------	-------------------

インターネット金融事業

売上高 8,703 (31.1%減)	営業利益 2,752 (16.8%減)
--------------------	---------------------

暗号資産事業

売上高 2,295 (51.2%増)	営業利益 598 (164.2%増)
--------------------	--------------------

インキュベーション事業

売上高 573 (-)	営業利益 268 (-)
-------------	--------------

※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しております。

クローズアップサマリー

先端技術分野への展開で新たな成長機会を獲得

当社グループは、最先端テクノロジーによる新たなサービスの提供に注力し、ネットセキュリティ分野およびAI・ロボティクス分野における取り組みを強化しています。

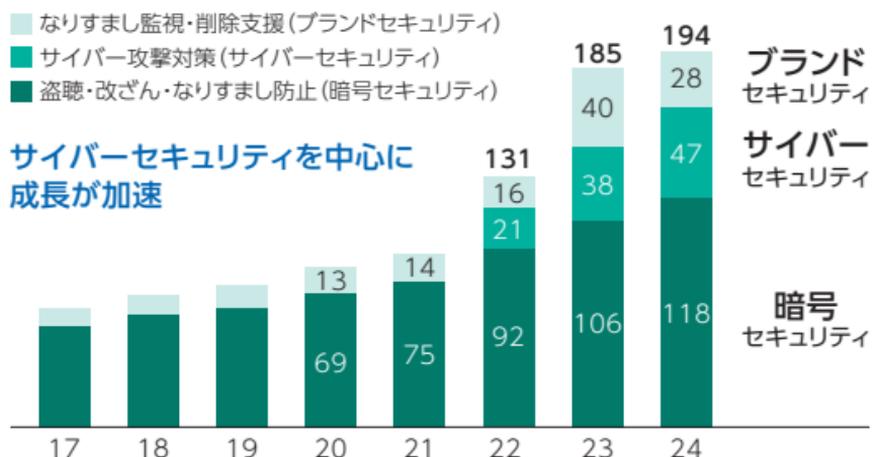
ネットセキュリティ分野では、インターネット環境をあらゆる脅威から守るべく、今期より「インターネットセキュリティ事業」を新規セグメント化しました。「暗号セキュリティ」「サイバーセキュリティ」「ブランドセキュリティ」の3領域で高度な技術力と運用ノウハウに裏打ちされたサービス・製品を提供しており、特にサイバーセキュリティ領域へ参入した2022年以降は、成長を大きく加速しています。

2025年2月からは、プロダクト投入とイベント開催を連続的に実施し、第一想起ブランドの確立を目指す「ネットのセキュリティもGMO」プロジェクトを始動しました。その一環として提供を開始した「.貴社名」申請・運用支援サービスは、ブランドTLD（トップレベルドメイン）の取得による究極のフィッシング対策として注目を集めています。

一方、AI・ロボティクス分野では、2024年にGMO AI&ロボティクス商事を設立し、2025年4月より国内初のロボット人材派遣型サービスを開始しました。ロボット商社としての立ち位置でお客様に最適なロボットの導入を提案し、必要なプログラムをカスタマイズして派遣します。その他にも同分野では、複数のAIモデルを同時に利用できる生成AI比較検索サービス「天秤AI byGMO」を提供しています。

当社グループは、これらの取り組みを通じて先端技術の社会実装を加速させ、新たな成長機会を獲得していく考えです。

ネットセキュリティ セグメント別通期売上高 (億円)



サイバーセキュリティを中心に成長が加速

日本初! ヒューマノイドロボットで AI・CEOを実体化

これからの当社グループは、経営のあらゆる局面で意思決定のさらなる高速化が求められるとの考えから、2024年7月より「GMO Brain AI プロジェクト」を推進しています。その第1弾として、社内向け独自AIツール「AI 熊谷正寿」を開発し、同年12月に社内ポータルサイトにてパートナー（従業員）への提供を開始しました。「AI 熊谷正寿」は、熊谷社長の思考やフィロソフィーと当社グループのカルチャーを集約・言語化した「GMOイズム」を学習しており、チャットボットを通じたパートナーとの対話により、意思決定に関するバーチャル知的ナビゲーターとして機能します。

そして2025年9月には、日本で初めてAI・CEOをヒューマノイドロボットで実体化した「ヒューマノイド 熊谷正寿」を発表しました。「ヒューマノイド 熊谷正寿」は、AIを搭載したヒューマノイドロボット「Unitree G1」に、「AI 熊谷正寿」の開発を通じて培ったノウハウと、GMO AI&ロボティクス商事による実証実験の成果を活用し、開発されました。口頭で「AI 熊谷正寿」に質問すると、その内容を認識・理解した上で、「GMOイズム」にもとづく回答を音声で提供します。

今後、「ヒューマノイド 熊谷正寿」の活用可能性をさらに探るべく、会議やお客様への対応などで実際に活躍してもらい、実用化に向けて検証を継続していきます。



**AI・CEO「ヒューマノイド 熊谷正寿」の
詳細については、こちらからご確認ください。**

<https://ai-robotics.gmo/news/article/aiceo/>



株主様向けインフォメーション

1 四半期配当

四半期配当: 期初方針に基づき9.5円の配当

当社では、配当性向33%を目途に四半期配当を実施しております。業績予想を非開示とする金融事業を含むため、本年度も連結業績予想は開示しておらず、同様に配当予想額も開示しておりません。配当額については四半期決算ごとに開示を行う予定です。

(単位: 円)	1Q	2Q	3Q	4Q	配当総額
2025年	17.6	16.8	9.5	—	43.9
2024年	17.2	6.9	7.7	10.0	41.8

2 株主優待

6、12月末日において1単元以上所有の株主様に対し、株主優待関連書類を郵送にて送付しています(郵送の目安: 6月末→9月下旬 / 12月末→3月中旬)。

※株主優待の申請手続きや、より詳しい情報につきましては株主優待申請サイトをご確認ください。

▶ <https://yutai.group.gmo/>

3 お問い合わせ先

- 株主優待はこちら
(GMOインターネットグループ株式会社 株主優待事務局)

専用ホームページ <https://yutai.group.gmo/>

お問い合わせ先 03-6633-4355

(受付時間: 土日祝祭日及び会社休業日を除く平日10:00~18:00)

- 株式事務手続きはこちら
(三井住友信託銀行株式会社 証券代行部)

0120-782-031 (フリーダイヤル)

(受付時間: 土日祝祭日等を除く平日9:00~17:00)